

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

平成21年冬号 VOL. 14



写真：日光市民による野生獣害対策体験活動（日光市川治地区）
—みんなの元気な森づくり支援事業—



特集 とちぎ環境立県戦略を策定しました
～地球と人にやさしい“エコとちぎ”～

森のなかまたち 第3回 森の中に住む虫 ヨコツナサシガメ



冬期に桜の幹のくぼみを見ると、左のような虫の群れを見かけます。カメムシの仲間でヨコツナサシガメの幼虫(成虫で体長 20mm 前後)です。公園樹や街路樹の大きな桜やえのきなどの樹皮のくぼみや洞に集合して越冬しており、赤い斑点があるので目につきます。毛虫などをエサにしますが、集団で攻撃することも多く、ストローのような口で体液を吸います。

子どもがいたずらをするとう刺されることもあるので注意が必要です。害虫を食べることが多いので、益虫でもあります。ただし、外来種です。

とちぎ環境立県戦略を策定しました

地球温暖化問題は、「いつか、誰かが」と言っていられない、世界共通、人類が英知を結集して取り組む喫緊の課題となっています。

このような中、先人のたゆまぬ努力により守り培われてきた「ふるさと“とちぎ”」の恵み豊かな環境を将来に引継ぎいでいくことは、現代に生きる私たちの願いであり、責務であると言えます。

このため、県では、県民、団体、事業者などの各主体が協働し、県民総ぐるみで地球環境の保全に取り組むための共通の理念や具体的な取組等を示す「とちぎ環境立県戦略」を策定しました。

戦略においては、概ね10年後を想定した目指すべき社会の姿として、「地球と人にやさしい“エコとちぎ”」を掲げ、県民、自然、産業の3つの力を活用し、県民総ぐるみで地球環境の保全に取り組むこととしています。

森づくりに関する10年後のイメージとしては、「森林の多様な機能を十分に発揮している民有林が約13万ヘクタールに拡大しています。」「企業との森づくりが行われている森林が50か所に拡大しています。」といった姿を示しています。



また、環境立県に向け県が先導的に取り組む事項をリーディングプロジェクトとして位置付け、森林分野では、県民や企業との協働による森づくりの推進などのとちぎの元気な森づくりプロジェクト、森林資源の活用などによるとちぎカーボンオフセットプロジェクトなどを積極的に推進していくこととしています。更に「エコとちぎ」プロジェクトプラス・ワンとして、家庭や学校、地域、職場などの様々な場面で、1人1本、木を植えて育てる取組を呼びかけています。

自然と共生し持続的に成長・発展する「地球にやさしい“エコとちぎ”」を実現するため、県民総ぐるみで積極的に地球環境の保全に貢献していきましょう。

■ とちぎ環境立県戦略について詳しくは県ホームページをご覧ください。

([栃木県トップページ](#) > [環境](#) > [環境保全・温暖化対策](#) > [環境保全](#))

子どもたちによる森づくり体験活動

～「出流^{いつる}ふれあいの森」における森林環境学習～

現地レポート第2回となる今回は、とちぎの元気な森づくり県民税による事業（森林環境学習支援事業）を活用した、栃木市の「出流ふれあいの森」における森林環境学習の様子を紹介します。

「出流ふれあいの森」は、栃木市西北端の豊かな自然に恵まれた林業地域に位置しています。このフィールドを活用して、7月31日（土）に、栃木市立寺尾南小学校5・6年生と寺尾中央小学校6年生のみなさん29名が参加する「木とのふれあい体験事業」が開催されました。

参加した子どもたちは、栃木市林業振興会やみかも森林組合の方の指導により、1時間程度、のこぎりによる間伐作業に汗を流しました。また、午後は間伐材を利用したプランター作りに挑戦しました。

これらの活動を通して、森林の大切さについて理解を深めていただき、将来の森づくり活動の担い手として活躍されることを期待しています。



子どもたちの声

大きくなる前の木を切ってしまうのはもったいないと思ったけれど、山の木を大きく育てるには必要なことだとわかりました。自分たちが手入れをした木が早く大きく育ってくれるといいなと思いました。



子どもたちの声

金づちやのこぎりを使ったのは初めてだったけれど、講師の先生に教えてもらって何とか作ることができました。できあがったプランターをバーナーで焼いて磨いたら、とてもきれいになり感激しました。

取材：栃木県県南環境森林事務所



森づくりトピックス

とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただきました！ ～国際ロータリー第2550地区、(株)カスミ、ふるさととちぎ応援寄附金～



去る10月25日に、国際ロータリー第2550地区から、地区大会記念事業として、とちぎの元気な森づくり基金に20万円のご寄附をいただきました。

宇都宮グランドホテルで開催された地区大会本会議において、森ガバナーから福田知事に目録が贈呈され、知事から感謝状を贈呈いたしました。

また、(株)カスミからは、レジ袋削減運動の一環として、県内でレジ袋の有料化を行っている「FOOD OFF ストッカー

芳賀店」の平成21年1月から6月までのレジ袋代金27,864円について、とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただいたほか、ふるさととちぎ応援寄附金として、12月までに4名の県外在住の方からご寄附をいただきました。

皆様からいただいた寄附金は、“とちぎの元気な森づくり”を進めるために有効に使わせていただきます。

平成21年度森林・林業コンクール表彰式が開催されました！



12月15日(火)に県庁昭和館正庁で、平成21年度森林・林業コンクール表彰式が開催されました。

この表彰式は、森林・林業・自然環境の分野におきまして、技術面や経営面の創意・工夫が特に優れ、優秀な製品の生産や業務に励まれ、他の模範となるなど、優れた功績をあげられた方や団体を表彰するものです。

式典には多くの方々が出席され、9つのコンクールと2つの功労者表彰が行われました。

■表彰が行われた各コンクール等

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| ①育林コンクール | ②林業経営コンクール | ③苗畑品評会 |
| ④林内路網活用コンクール | ⑤優良木材展示会(素材) | ⑥しいたけ経営コンクール |
| ⑦きのご展示品評会 | ⑧わさび展示品評会 | ⑨きのご料理コンクール |
| ⑩林業・林産業功労者 | ⑪山岳遭難防止・救助等功労者 | |

元気な森づくり県民会議 部会だより

木づかい推進部会

「木工工作の学習資材」を配布しています！

小中学校の教育課程において、木材を使う学習を普及するため、本立てやベンチなどの木工工作の学習資材を提供しています。

子どもたちは、この学習資材を使って木に親しむと同時に、木を使うことが健全な森林を育てることにつながることや、地球温暖化を防ぐなどの森林の持つ働きについて学習しています。

今年度、たくさんの学校から要望がありましたが、39校 1,000人の児童に配布することを決定し、11月から配布を開始し、児童の皆さんが木に親しんでいます。



子どもたちの声

- ☆お母さんと一緒に作りました。家で大切に使っています。
- ☆釘を打つのが大変でしたが、友だちと協力して作りました。

普及・啓発部会

とちぎの森づくり交流事業を開催！

下流域都県民に、本県の森林が果たす公益的機能や、木材産業の現状について理解を深めていただくため、10月21日（水）に、鹿沼市内で「とちぎの森づくり交流事業」を開催しました。

第4回目となる今回は、墨田区民44名の方々に参加され、「21世紀林業創造の森」で大型高性能林業機械による伐採作業の見学を行った後、丸太切りの体験をしました。また、プレカット工場見学を通して、木材の手触りや香りの良さを実感していただきました。



参加者の声

- ☆改めて、林業の大切さを認識しました。
- ☆(丸太切りを体験して)とても良い体験をしました。昔を思い出します。
- ☆ボランティアで下草刈りに行ってみたい。



元気な森づくり伝言板



★^{がっこう}とちぎ「森の楽校」「みんなの森」に苗木を植えてみませんか★

栃木県県民の森にある「みんなの森」に、コナラなどの広葉樹を植樹します。ボランティアとして参加していただける方を募集しています。

- 日時 平成22年3月13日(土) 9時30分～14時30分
(予備日 3月22日(月・祝日))
- 場所 栃木県県民の森地内(矢板市長井)
- 募集定員 先着50名
- 費用 無料
- 申込締切日 平成22年3月6日(土)
- 申込み・お問い合わせ先 (社)栃木県緑化推進委員会(Tel.028-643-6801)
- 主催 栃木県、(社)栃木県緑化推進委員会

親子での参加も大歓迎!



★とちぎの木材で住宅を建築すると、県が30万円を補助します★

県では、県内において自ら居住するために、柱や梁・桁(はり・けた)などの構造材の60%以上に栃木県産出材を使用するなどの条件を満たす住宅を建築する方に、30万円を補助します。

申請は、平成22年3月15日(月)まで受け付けています(必着)。

詳細につきましては、栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.lg.jp/> を御覧ください。

- 補助要件
 - ①軸組工法により建設される一戸建の木造住宅で、新築であること。
 - ②延べ面積は75㎡以上であること。
 - ③構造材に合法木材(違法伐採でないこと)を使用し、かつその60%以上に県産出材(県内から産出された木材)を使用すること。
 - ④施工者は、県内に本店を有する建設業許可業者であること。
 - ⑤平成22年3月25日までに上棟すること。

- 申請書の提出先: 下記あて直接持参するか、郵送(書留郵便)してください。

栃木県木材業協同組合連合会

〒321-2118 宇都宮市新里町丁 277-1 Tel.028-652-3687



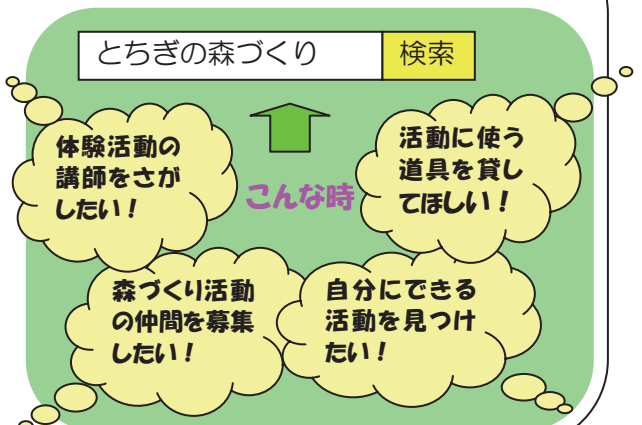
★ご利用ください! 森づくり活動のポータルサイト「とちぎの森づくり」★

県では、県民の皆さんの森づくり活動を支援するため、栃木県のさまざまな森づくりに関する情報をワンストップで提供するインターネットのポータルサイト「とちぎの森づくり」を開設しています。

サイトは、インターネットでどなたでも見ることができます。さらに、会員登録をしていただくと、活動団体や県民の皆さんからの情報(イベント、会員募集等)のお知らせを掲載することができます。

ぜひご活用ください。

<http://mori.ecomori-tochigi.jp/>



編集・発行 とちぎの元気な森づくり県民会議 平成22年2月発行

(事務局 宇都宮市塙田 1-1-20 栃木県環境森林部内 Tel. 028-623-3297)

「とちぎの元気な森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。